

県立春日部高校 ≪活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）≫

課程	定時制	学科	普通科			R5.5.1 生徒数	(男) 75 (女) 55	計	130
アクセス	東武アーバンパークライン（野田線）八木崎駅徒歩1分 ※急行、区間急行は停車しません。								
＜目指す学校像＞									
基礎学力を身に付け、人権尊重の精神を養い、一人ひとりの生徒が生き生きと学び合う学校									
＜教育課程等＞ ※ 1									
<p>生徒一人ひとりに最適な、「わかる」を目指した授業を展開していきます。</p> <p>(1) 基礎学力の定着を目指して、個々の学習状況、達成度に応じて丁寧な指導を展開します。</p> <p>(2) 数学・英語は少人数、習熟度やチームティーチングなどの授業を行い、「わからない」を解消していきます。</p> <p>(3) 希望者に対して「基礎講座」や「進学対策講座」を実施しています。</p> <p>(4) 総合的な探究の時間では、高校生活を自律的に送れるように、学年進行でそれぞれの課題に取り組み、自ら学ぶ力の育成を目指しています。ICTを活用して調べる力、発表する力を育てます。</p>									
＜本校が求める生徒＞ ※ 2									
<p>学ぶ意欲のある生徒</p> <p>勉強の「やり直し」をしようと考えている生徒</p> <p>主体的な判断のできる社会人を目指す生徒</p>									
＜学校行事＞									
春高祭（文化祭・6月）は全日制と合同で実施します。生活体験作文に全校的に取り組みます。体育祭、球技大会、百人一首大会は体育館で実施します。修学旅行は3年次に実施しています。									
＜部活動＞									
<p>運動部5部（陸上、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球）とボランティア部があり、定通総体など全国大会を目指して練習・活動しています。</p> <p>令和3・4年度には陸上部が全国大会に進出しました。</p> <p>バスケットボール部は令和4年度新人大会で準優勝をしました。全国大会にあと一歩です。</p>									
＜家庭・地域との連携＞									
<p>生徒会役員、ボランティア部員を中心に各学期に1回、学校周辺や校内のごみを収集する「クリーンアップ」活動を実施しています。</p> <p>保護者の皆さんからは、生徒の育成のためにPTA活動などを通して様々な面での応援をいただいています。</p>									
進 路	R5.3 卒業生	四大	4人	短大	0人	専門	4人	就職	20人
	傾向	<p>例年、卒業生の半数程度がハローワークを通じた就職を希望し、正社員として採用されています。1学期末からのハローワークの学卒担当者との面談や本校の教員による履歴書指導、面接練習を経て、就職試験に臨みます。努力の甲斐あって、納得のいく成果を得ています。</p> <p>進学希望者は総合型選抜（AO入試）や学校推薦型選抜（推薦入試）を中心に合格しています。進学補習等で力をつけ、一般入試に挑戦する生徒もいます。</p>							

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針

裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

※1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

※2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）



県立春日部高等学校(定時制の課程) 育成方針

基礎学力を身に付け、人権尊重の精神を養い、一人ひとり生き生きと学び合う学校

★個別 最適化 教育

☆一人ひとりの「学び」を大切にする教育

①基礎学力の定着を目指しながら、個々の学習状況、達成度に応じて丁寧な授業を展開します。

②数学・英語は習熟度別授業やチームティーチングなどの授業を行い、「わからない」を解消していきます。

③希望者に対して「基礎講座」や「進学対策講座」を実施しています。

④総合的な探究の時間では、自らを知り、自ら学ぶ力の育成を目指しています。ICTを活用して調べる力、発表する力を育てます。

四年

- 正しい職業観を身に付ける
- 卒業後の進路の実現に向け、小論文を書けるようになり、面接でしっかり受け答えができる
- 部活動、学校行事ではリーダーとして下級生を指導できる
- 地域社会の一員として、地域に貢献できるための準備をする

三年

- 部活動、学校行事では努力すべき諸課題を明らかにし、部活動の大会等での成功体験を積む
- 自らの将来の進路について明確化し、勉強する意義やその方法を知る
- 周囲の人々に思いやりを持ち、利他の心を育む
- 社会常識に触れる機会を増やし、大人としての行動がとれるようにする

二年

- 働きながら学ぶ経験をとおして、礼儀、責任感を身に付け、勤労の大切さを理解する
- 将来の職業について考え、それに関する知識を得る。
- 部活動、学校行事に積極的に参加し、努力することの大切さを知る。

一年

- 規則正しい生活を送り、登校の習慣を確立する
- 自己の行動を律する力をつける
- 授業をしっかり受け、自分で学習する習慣を身につける
- 食事をきちんととり、自らの健康を管理をする
- 部活動、学校行事に参加し、協力してやりとげる体験をする

県事業

◆ 学習サポーター
(数学・情報):
大学生による学習支援
(少人数の授業において個々の生徒への個別指導)

◆ 多文化共生推進員の配置:
日本語の理解が十分でない生徒への支援(授業・始業前)

食育

◆ 栄養士が献立を考える自校給食
: 栄養バランスに優れた食事

◆ 友達や先生との食事時間
: 仲間意識、コミュニケーション能力の育成

教育相談

◆ スクールソーシャルワーカー(拠点校)
: 福祉との連携・公的支援機関との連携

◆ スクールカウンセラー
: カウンセリングによる心理支援

◆ 特別支援コーディネーター(春日部特別支援学校)による支援